

ポリヌクレオチドアデニル基転移酵素

Cat. No. EXWM-3233

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 CTPとともに働く作用します。DNA鎖の3'末端を1ヌクレオチドずつテンプレート非依存的に延長する触媒作用を持ちます。新たに鎖を開始することはできません。プライマーは、酵素の供給源に任じて、RNAまたはDNAフラグメント、または3'-OH末端基を持つオリゴ(A)である可能性があります。EC 2.7.7.6 DNA指向RNAポリメラーゼも参照してください。

別名 NTPポリメラーゼ; RNAアデニル化酵素; AMPポリヌクレオチドレキソトランスフェラーゼ; ATP-ポリヌクレオチドアデニル転移酵素; ATP:ポリヌクレオチドレキソトランスフェラーゼ; ポリ(A)ポリメラーゼ; ポリ(A)シンテターゼ; ポリアデニレートヌクレオチジル転移酵素; ポリアデニレートポリメラーゼ; ポリアデニレートシンテターゼ; ポリアデニル酸ポリメラーゼ; ポリアデニルポリメラーゼ; ターミナルリボアデニレート転移酵素; ポリ(A)ヒドラーゼ; RNA形成因子, PF1; アデノシン三リン酸:リボ核酸アデニル転移酵素

製品情報

形態 液体または凍結乾燥粉末

EC番号 EC 2.7.7.19

CAS登録番号 9026-30-6

反応 $ATP + RnA_n = \text{二リン酸} + RnA_{n+1}$

備考 このアイテムはカスタム生産が必要で、リードタイムは5~9週間です。ご要望に応じてカスタム生産が可能です。

保管・発送情報

保存方法 短期間は +4 °C で保管してください。長期間保管する場合は -20 °C~-80 °C で保管してください。